

森林政策 I

愛知県の森林・林業政策

日時：平成23年9月17日（土） 10:00～12:00

講師：浦井 巧（愛知県農林水産部技監）

概況



◎愛知県の森林・林業政策

1. 世界の森林

地球の陸上の約30%が森林である。森林率は南米が最も高く、アジアは19%程度である。森林面積は世界的に減少傾向にあるが、中国では「退耕還林」運動により、森林面積は増加している。

2. 日本の森林

日本の森林率は国土の約7割で、このうち人工林は4割程度である。木材の自給率は昭和30年時点では95%だったが、木材需要の急激な増加に対応するために木材輸入の自由化を行い、それに伴って自給率は急激に低下し、木材の需要自体が減少し、現在では26%にとどまっている。主な木材輸入元はオーストラリア、カナダなどである。

3. 愛知県の森林・林業の現状

愛知県の森林率は47都道府県中41位、森林面積は37位と全国的に見て少ないが、古くから造林してきた経緯から人工林率は3位と高い（ほとんどが民有林）。森林の資源構成は61年生以上が33%、71年生以上が24%と高齢級の森林が多く、最近では新たな造林があまりされていない。林業従事者数も減少傾向にある。

4. 国の施策：森林・林業再生プラン

今後 10 年間を目途に、森林の有する多面的機能の持続的発揮、林業、木材産業の地域資源創造型産業への再生、木材利用・エネルギー利用拡大による森林・林業の低炭素社会への貢献の 3 つの基本理念のもと、社会構造をコンクリート社会から木の社会へ転換し、木材自給率 50%以上を目標とする。

木材の安定供給体制を構築し儲かる林業を実現するため、路網整備を徹底し、集約林業経営による低コスト化を図る。

5. 愛知県が目指す森林づくり

積極的な森林活動が行われている森林づくり、自然の力を活かして育まれる森林づくり、身近な里山林として活用されている森林づくりの 3 方向を目指している。

①食と緑の基本計画：木材生産量、間伐などの目標数値の設定。

②あいち木づかいプラン：低層公共建造物の原則木造化、木材生産量 12 万 m³を目指す。

③あいち認証材制度：愛知県産木材の認証と認証材利用に対する補助制度。

④あいち森と緑づくり事業：森と緑づくり税を活用し、人工林の間伐や里山林整備、都市の緑の創出、環境活動の支援を行う(独自課税の取り組みは 30 県目)。

⑤低コスト林業の推進：高性能林業機械や低密度植栽の導入など。

森林境界の確認や高齢級森林の施業方法の確立、林業従事者の育成、森林・林業に対する理解を深めるなど取り組むべき課題は多い。